

単元デザイン

知的障がい特別支援学級／自閉症・情緒障がい特別支援学級（フロンティア学級）合同作業学習

主たる活動場所 フロンティア学級1・2組教室

指導者 教諭 石川 律子(T1)

講師 佐藤 翔喜(T2)

特別支援教育支援員 皆川 萌(S)

1 単元名 作業学習 「折染めで団扇をつくろう」

2 単元について

(1) 生徒について

フロンティア学級は、1組が知的障がい、2組が自閉症・情緒障がいの特別支援学級である。学級は2つに別れているが、全員が中・軽度の知的障がいがあると診断されている。また、特に作業学習では3年生の二人がモデル的な役割を果たしてくれていることが多く、2組の生徒の良い手本となるので、合同で授業を受けていることが多い。また、中学校卒業後は特別支援学校に進学を希望している生徒が多い。4名とも授業は落ち着いて受けることができている。しかし集中力の持続や、責任感、仲間と協力することは十分ではない。4人で役割を適切に分担し、それぞれが責任をもって自分の工程をこなすことができるようにしていきたい。

生徒個々の実態については、以下のように捉えている。

生徒	学年	実態
Kさん	フロンティア 1組3年	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかな性格。いろいろな話題で、何でもよくしゃべることができる。 ・文字を読んだり書いたりすることが、極端に苦手。カタカナも覚えていない字がある。計算は、掛け算九九が5の段までならできる。 ・集中があまり続かず、飽きやすい。身の回りの整理整頓は苦手である。 ・車や釣りなど、アウトドアの趣味を家族といっしょに楽しめる。
Aさん	フロンティア 1組3年	<ul style="list-style-type: none"> ・まじめな性格で、自分の役割を果たそうと努力することができる。 ・少し難しい作業でも、諦めずに集中して取り組むことができる。 ・おとなしく、昼休みは学級で静かに過ごしていることが多い。 ・野菜や花の栽培に興味を持っている。
Yさん	フロンティア 1組2年	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく積極的な性格で、初めての人でもすぐに挨拶をして話しかけることができる。 ・うまくいかない場面になると、いらいらしてしまうことがある。 ・集中はあまり続かず、他のものに目移りしてしまう。 ・勉強したいという思いはある。
Rさん	フロンティア 2組2年	<ul style="list-style-type: none"> ・AO/HO、中度知的障がいの診断を受けており、服薬の力をかりて、落ち着いて授業に取り組めるようになってきている。 ・手先はあまり器用ではない。姿勢が崩れやすい。 ・文章はいっしょに音読すると、内容を理解することができる。 ・身の回りの整理整頓が、とても苦手である。 ・運動が好きで、ソフトテニス部で活躍している。

(2) 教材について

本校では定期的に特別養護老人ホーム「まえさわ苑」との交流を行っており、夏期には暑中見舞いのプレゼントとして団扇を各学級で分担して作成し、届けている。団扇は福祉委員会が中心となって製作しているが、特別支援学級の生徒も前沢中学校の伝統としての取り組みに関わり、役割を果たしていることを実感できるよう、その役割の一端を担わせてもらうことになった。生徒たちには、福祉委員会担当の先生から直接依頼をもらい、意欲喚起を図る。実際に交流が行われるのは来年の夏であるが、納品数120本を作り上げなければならない。ノルマ達成のための手立てとして、見本作品を提示したり作業工程を細分化したりしながら、自分ほどの工程であればうまくできそうか投げかけて、役割分担をしていく。さらに、それぞれの工程ごとにその時間の到達目標を確認してから作業に取り組んでいく。この単元を通して、自分が得意とするところを生かし、仲間に助けをもらいながら一つのものを作り上げる体験を積み重ねたい。

(3) 指導について

授業は、「導入（受注）」「製作」「まとめ（納品）」の三つの活動で構成する。

「導入（受注）」では、製作の意欲をもてるように、製作する団扇の見本を示しながら、福祉委員会担当の先生に依頼をしてもらう。そして実際に製作のようすを観察し、作業の見通しを持つ。

「製作」では、依頼を想起しながら丁寧に作業することを繰り返し確認する。折染めの技法を用いて、「紙を折る」「紙を染める」「紙を切る」「紙を貼る」の4つの工程を全員が体験し、自分が責任をもって取り組めそうな工程はどれか、考える。その際自分の主観だけでなく、仲間の意見も聞き受け入れながら役割分担を決めていくようにしたい。また、いつでも自分の作品と見本と見比べられるように、作業工程ごとの見本を用意する。作業を進めるにあたってわからなくなったり、困った状況が起こったりしたらどのように行動すればよいかについては、共同授業者とともに特に注意して指導をする。

「まとめ（納品）」では、依頼品を直接先生に納品し、製作した団扇の出来栄を評価してもらう。その後、製作過程で努力したことや工夫したことなどを一人一人発表し、お互いの頑張りを認め合いたい。

3 単元目標

- ①製作の達成感や喜びを味わったりする。
- ②自分の役割に責任を持ち、納品までやり遂げる。
- ③使用する道具や材料を丁寧に扱い、基本的な手先の技能を高める。
- ④困ったときに仲間や先生に状況を伝え、助けてもらうことができる。

生徒	個別の到達目標
Kさん	<ul style="list-style-type: none"> ・折染めを楽しみ、意欲的に活動する。 ・依頼内容に使命感をもち、上級生として後輩たちを励ましながらか活動する。 ・活動に必要な材料や道具を、丁寧に扱う。
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ・折染めでできる模様を工夫して、自分の作品に満足する。 ・自分の分担の工程を、丁寧にすすめる。 ・困ったときに、仲間や先生に助けてもらう。
Yさん	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで製作を行い、できたことをみんなといっしょに喜びあう。 ・自分の役割に責任をもち、時間いっぱい意欲的に活動する。 ・困ったときに、落ち着いて仲間や先生に助けてもらう。
Rさん	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで一つの物を作り上げることに、達成感を得る。 ・自分の分担の工程を、最後まで作業し続ける。 ・使用する道具や材料を丁寧に扱う。

4 単元の指導計画（12時間）

	学習課題	対話的な活動	振り返り	評価規準
導入 (依頼) 1h	団扇製作の依頼を受けて、作業工程を確認しよう。	自分ほどの工程がうまくできそうか、話し合う。	団扇作成をすることができそうか、意思表示をする。	依頼から納品までの流れや作業手順を理解できたか。
製作 (1) 1h	折染め用の紙を折ってみよう。	折り方と実際に染めた紙とを見比べて、どの折り方だとどのような模様ができるのかを予想し合う。	振り返りシートに、できた折り方と数、自分も含めて誰がこの役割に合っていると思うか、記入する。	紙の折り方図を見て、同じように紙を折ることができる。
製作 (2) 1h	折った紙を染めてみよう。	染めた紙をお互いに鑑賞し合い、どの作品のどのような点がよいと思うか、話し合う。	振り返りシートに、できた染め紙の枚数と満足度、自分も含めて誰がこの役割に合っていると思うか、記入する。	見本と同じように、適当な量の色で紙を染めることができる。

製作 (3) 1h	染めた紙を型に合わせて切り、団扇の芯に貼ってみよう。	できあがった団扇を鑑賞し合い、どこがうまくいったと思うか、難しかったところはどこか、もっと工夫できるところはないか発表し合う。	振り返りシートに、自分と仲間が作った団扇について、観点（型の取り方、紙の切り方、貼り方）ごとに評価し、自分も含めて誰がこの役割に合っていると思うか、記入する。	型紙を使って、適当な形・大きさの紙を切ることができる。適切な量ののりを団扇の芯にぬり、皺ができないように紙を貼ることができる。
製作 (4) 1h	作業工程を振り返り、自分が向いている工程を見つけよう。	振り返りシートに記入された意見を元に、どの工程をだれが担うのが適当か、話し合う。	自分が担当する役割について、どのように取り組んでいきたいか記入する。	理由を述べながら、お互いに適した役割分担ができたか。
製作 (5) (本時) 6h	役割分担に沿って、目標数の団扇を製作しよう。	目標数に対してどのくらい達成できたか発表し合い、それぞれの頑張りを認め合う。	自分がたてた目標が適切であったか、次回はどのように改善すべきか考え、記入する。	適切な目標数を設定できたか。 見本や工程を確認しながら、丁寧に制作できたか。 困ったときに、先生に適切な言葉でそれを伝え、支援を求めることができたか。
まとめ (納品) 1h	製作した団扇を、依頼者に納品しよう	製作した団扇を依頼者に納品し、評価してもらおう。自分たちの活動について振り返る。	自分たちで作った団扇について評価してもらい、今までの活動を振り返って、反省・感想を発表する。	今までの活動を振り返って、達成感や満足感を発表することができたか。

5 本時の展開【8/12】

本時のねらい 依頼を想起し、きれいな団扇を丁寧に製作する。

生徒	期待する姿	個別の手立て
Kさん	自分の工程での目標数を、適切に設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで作業に集中する。 集中できていない仲間がいたら、自分から励ましの声をかける。
Aさん		<ul style="list-style-type: none"> 困ったときは先生を呼び、困っている内容を伝える。
Yさん		<ul style="list-style-type: none"> 最後まで、自分の分担に集中する。 早く終わったら、時間までどう過ごせばよいか、先生に聞く。
Rさん		<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に作業する。 最後の挨拶まで、背筋を伸ばして活動する。
		<ul style="list-style-type: none"> 作業手順図をそばに置き、活動の際に確認するように促す。 T2が側で声をかける。 T1が声をかけ、出来栄を認める。 T3が側で支援する。 早く終わったら、手伝える工程がないか、問いかける。 作業しやすい道具の配置をいっしょに考える。 一つ作業が終わるごとに、T1が確認する。

展開

段階	学習内容	学習活動	全体への手だて (※・評価 (○))
導入 (5分)	1 団扇づくりの依頼を想起し、自分がたてた目標および今日の予定を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・団扇づくりの目的を想起し、今日の自分の作成目標数を発表する (1組教室)。 ・作業場所 (2組教室) に移動する。 	※依頼者(先生)の写真・作業工程予定表・これまでの達成状況・それぞれの今日の目標数の掲示 ○自分の工程と目標を発表することができたか。 (視点1：学習の見通し)
自分の分担に責任を持ち、きれいな団扇をつくろう			
展開 (35分)	2 それぞれの目標にしたがって、作業に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標数を達成できるように、集中して作業に取り組む。 ・作業終了の指示がでたら、材料や道具をみんなで片付ける。 ・1組教室に移動する。 	○自分の工程を、丁寧にすすめているか。 ○困ったときにどうすればいいか、実行できているか。(視点2：学習課題を解決するための活動) ※支援者の配置は、下図参照。
終末 (10分)	3 本時行った作業の成果や次回行う作業について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに今日の進行状況と自己評価を記入し、発表する。 ・次回行う作業の確認をする。 	○生徒一人ひとりについて、頑張りを認める。 ※達成状況の確認・掲示 (視点3：学習の振り返り)

教室と支援者の配置

